

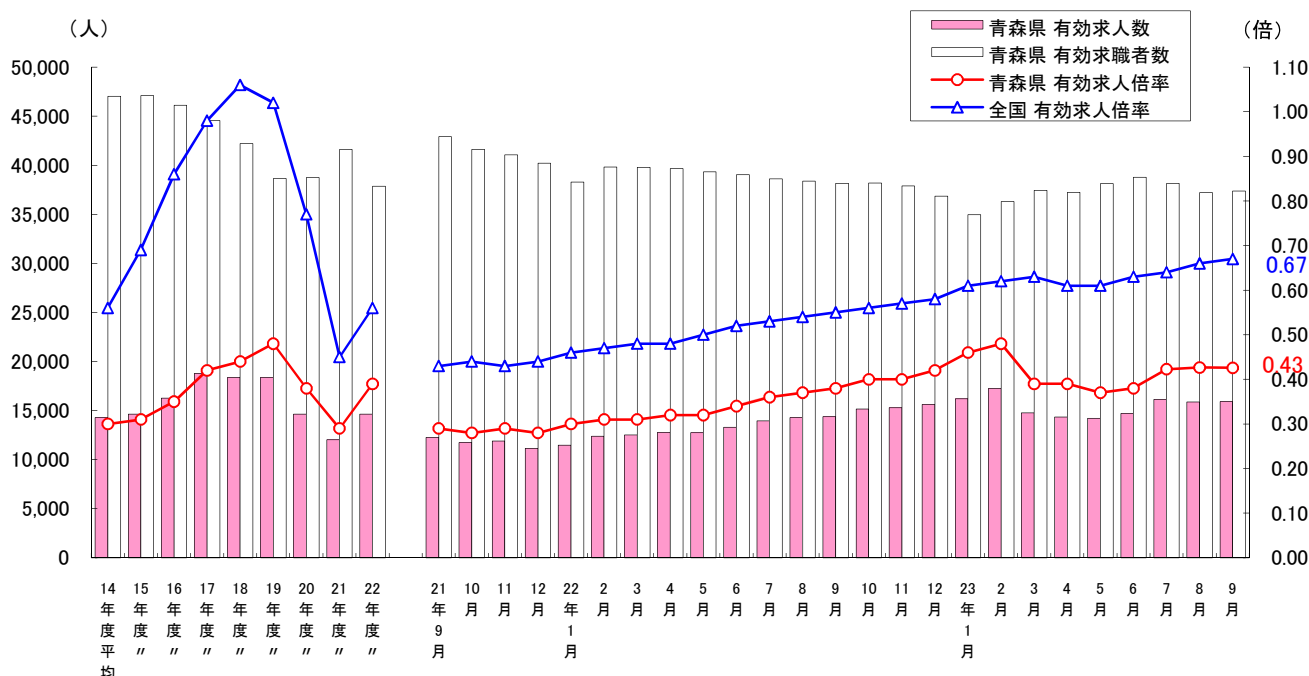
最近の雇用情勢について

(平成23年9月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

9月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ0.2%増加の15,913人、有効求職者数(同)は0.4%増加の37,360人で、有効求人倍率(同)は前月と同値の0.43倍となった。

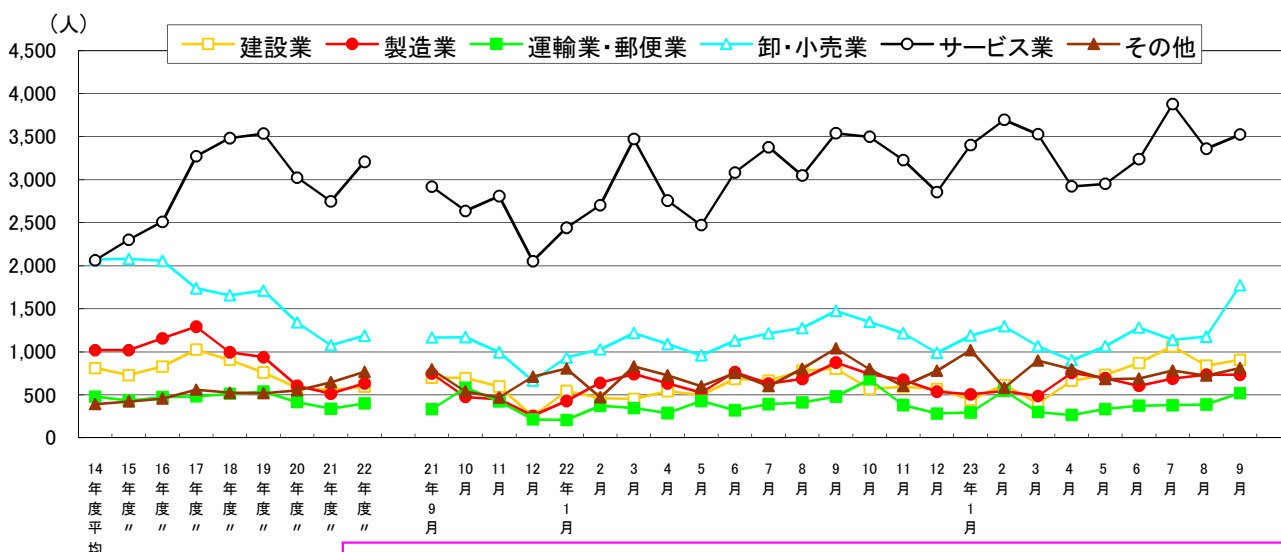


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成22年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

9月の新規求人(原数値)は前年同月比0.7%(58人)増加、前月比14.6%(1,052人)増加の8,273人。

産業別に前年同月と比較すると、建設業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、複合サービス事業、サービス業で増加し、農・林・漁業、製造業、情報通信業、金融・保険業、不動産業・物品賃貸業、学術研究・専門・技術サービス業、医療・福祉、公務・その他、等で減少した。製造業では、印刷・同関連業、金属製品、電子部品・デバイス・電子回路、その他の製造業等では増加し、食料品、繊維工業、木材・木製品、窯業・土石製品、電気機器、情報通信機器、輸送用機器製造業等では減少となった。(平成21年4月内容分から本文中の産業分類は平成19年11月改定の「日本標準産業分類」に基づいています。)



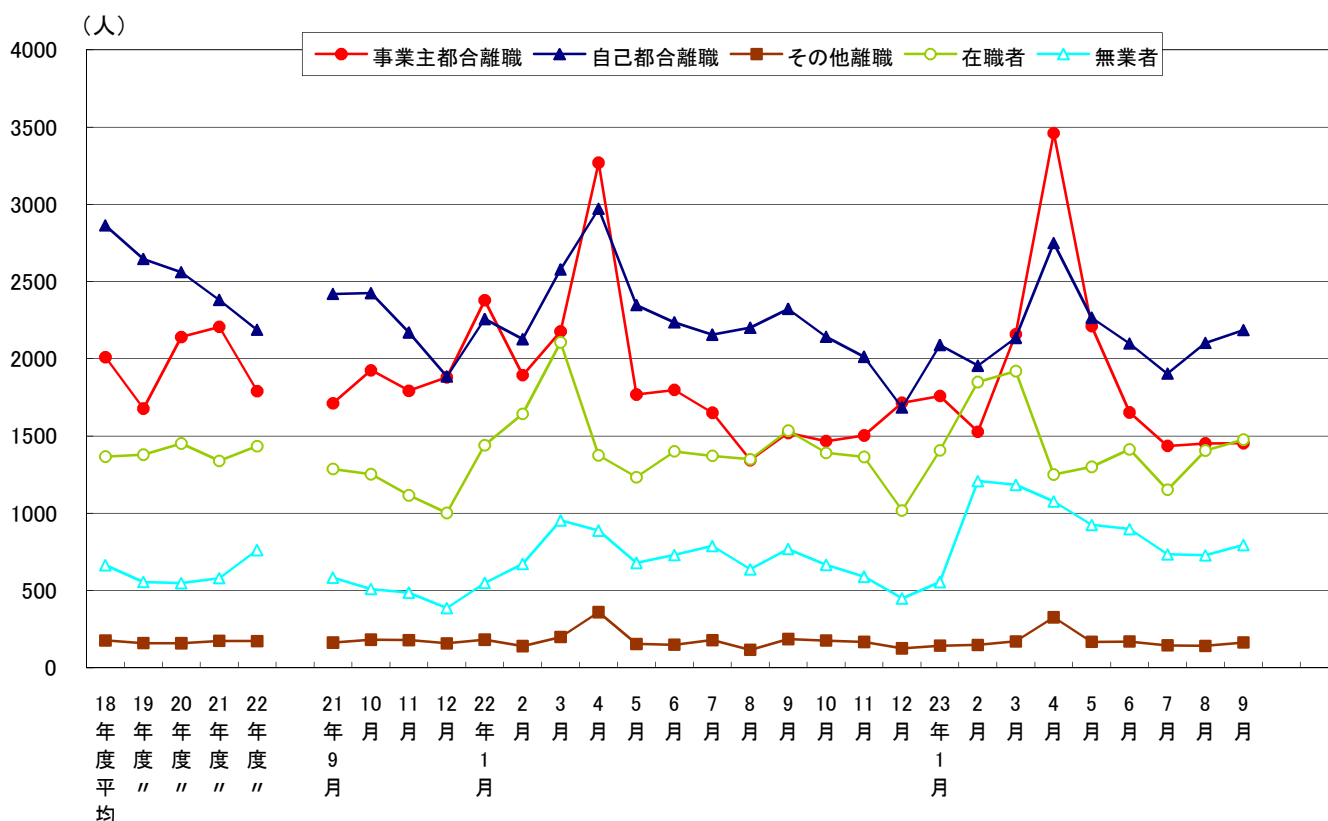
平成21年4月内容分より、平成19年11月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援事業」「医療、福祉」「複合サービス事業」「サービス業」を含む。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「公務、その他」を含む。

Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

9月の新規求職者数は、前年同月比4.1% (258人)減少、前月比4.2% (244人)増加の6,075人。

求職者の実態を前年同月と比較すると、無業者は3.4% (26人)増加したが、在職者は3.8% (58人)の減少、離職者は5.6% (226人)の減少となった。

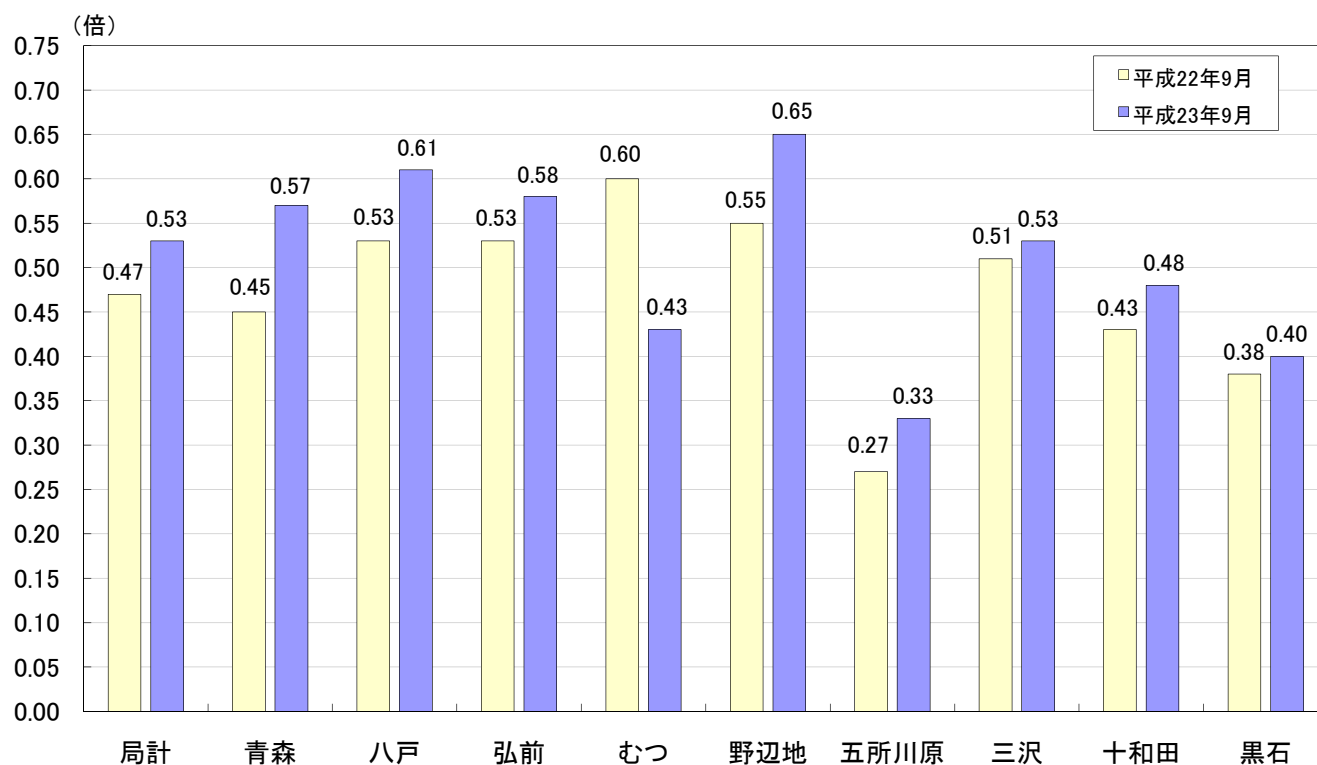
離職理由でみると、事業主都合離職者は4.4%の減少、自己都合離職者が5.9%の減少となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

9月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.53倍となり、前年同月を0.06ポイント上回った。

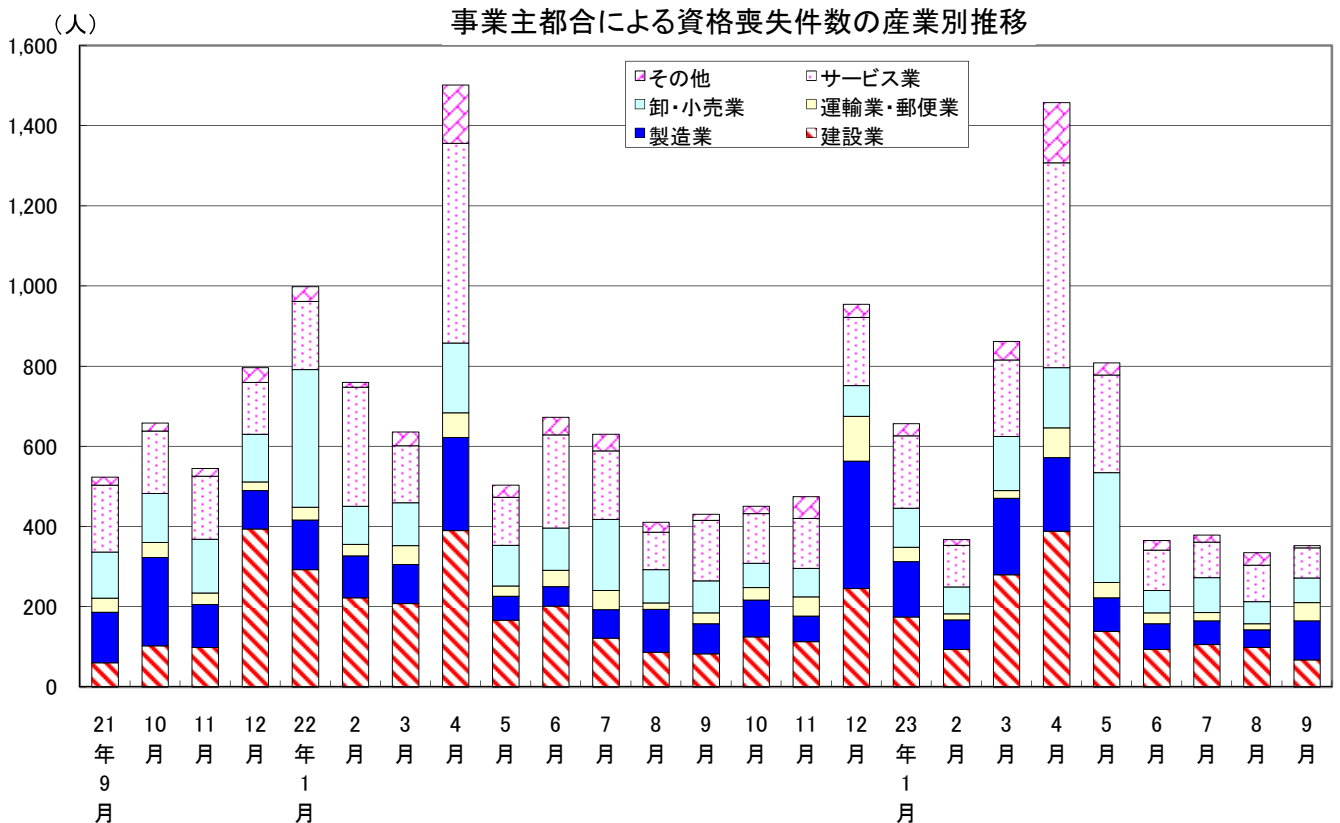
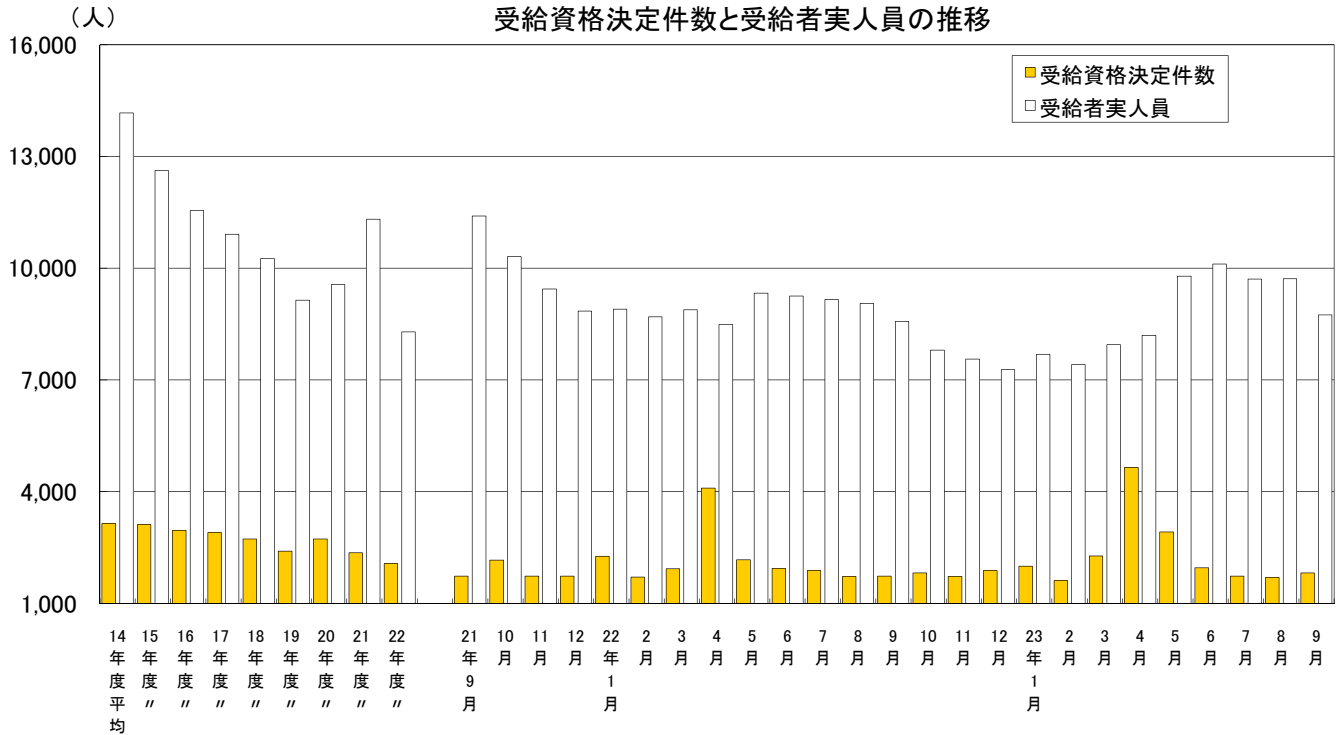
各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



V 雇用保険の状況

9月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比2.0%（173人）増加し、前月比では10.0%（971人）減少の8,747人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比83件（4.8%）増加、前月比では122件（7.2%）増加の1,815件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比76人（18.5%）減少、前月比44人（11.6%）減少の335人となっている。



平成21年4月分より、平成19年11月改定の新産業分類で集計。
『サービス業』には、「学術研究・専門・技術サービス業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「医療・福祉」、「複合サービス事業」サービス業を含む。